

当院は医療従事者の負担軽減及び処遇の改善を 目的として以下に取り組んでいます。

【勤務医に対する負担軽減に関する計画】

- 当院は、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善として、医師事務作業補助者（メディカル・クラーク）や他職種との業務分担（入院説明など）に取り組んでいます。
- 看護師による静脈注射の実施を推進する。
- 看護師による患者の認知度やせん妄リスク評価の充実により、入院による認知症悪化を最小限にし、効率的な治療を進める。
- 薬剤師による入院患者の持参薬の確認業務を拡充する。
- 薬剤師による主治医に対しての服薬計画の提案を推進する。
- 薬剤師によるハイリスク薬投与患者に対して、投与前の詳細な説明や指導の実施を推進する。
- 放射線技師による検査や治療前の説明や問診のサポートを推進する。
- 栄養士による患者の栄養管理に関するサポートを推進する。
- 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制を実施する。
- 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間には、一定時間の休憩時間を確保する。
- 予定手術前日の当直や夜勤に対して配慮する。
- 当直翌日の業務内容に対して配慮する。

病 院 長